

秋田県・市町村協働政策会議における協議結果のフォローアップについて

令和4年5月25日
企画振興部

令和3年11月24日に開催されたこの会議において市町村及び県から提案のあった事項について、現在、次のような取り組みが進められている。

1 市町村提案事項について

市町村の提案	協議結果等	現在の取組状況（予定）
<p>事業者の働き手の確保について</p> <p>現在も国県等と連携しながら様々な施策を実施しているが、令和3年7月には能代山本管内で有効求人倍率が2倍を超え、秋田県においても全国2位の高水準で推移している。能代山本管内のみならず秋田県内事業者の働き手確保が深刻化していることから、新たな対策が必要であると考えている。</p>	<p>1 労働移動の促進を図るため、求人の少ない業種と、求人の多い建設や介護などの職種間のアンバランスの解消に向け、大学や専門学校と連携した、長期の職業訓練などによる資格取得への支援や、離職者を対象とする建設分野での職業訓練と就業奨励金の支給などを進める。</p> <p>2 未就業者の就職の促進を図るため、結婚や出産などで離職した女性を対象に、セミナーや座談会の開催、企業とのマッチングを進めるほか、再就職を目指す若者等を対象にキャリアコンサルティングを行うなど、個別型の支援を行う。</p>	<p>【担当：産業労働部】</p> <p>1 県立技術専門学校においては、建設機械運転科に加え、令和4年度から新規に木造建築科、第二種電気工事士等資格取得応援科、NCオペレータ養成科を設置し、求職者の建設分野への就業促進を図るとともに、大学と連携して「介護福祉士」の資格取得に向けた支援を行う。</p> <p>また、就業奨励金については、「建設業」等のほか令和4年度から新たに「老人福祉・介護事業」と「デジタル技術関連業種」を対象業種に加え、職業訓練を伴った再就職支援の一環として引き続き支給を行う。</p> <p>2 未就業女性を対象に、就業意欲を高めて求職活動へ向かう動機付けとなるセミナーや座談会の開催のほか、合同就職説明会によるマッチング支援等の実施により、令和3年度は事業を通じ、96名の女性の新規就業を支援したことから、今後もより多くの女性の新規就業を実現するため、支援を継続する。</p> <p>また、県内3か所に設置している「あきた就職活動支援センター」において、あらゆる年齢層を対象に、職業相談や応募書類作成支援、面接練習など一人ひとりの状況に合わせた就職に関するサポートを行っており、令和3年度のキャリアコンサルティング利用者数は延べ3,735人で、543人の就職に結びついたことから、令和4年度もオンラインによ</p>

	<p>3 高校生の県内就職の促進を図るため、各地域振興局が市町村と連携し、高校生や保護者を対象に、企業説明会やガイダンス、企業見学ツアーなどを開催して、県内企業の情報発信に努める。</p> <p>4 就業環境の改善を図るために、働き方改革の先進事例集を配布するなど、県内企業による多様な働き方の導入や、働きやすい職場づくりを進める。</p> <p>5 採用をめぐる環境の変化に対応し、企業を選ぶ際の基本となる賃金水準の引き上げに向けた取組を進める。</p>	<p>る相談や秋田駅周辺での出張相談により利便性を高め、関係機関と連携し支援する。</p> <p>3 令和3年度は、5地域振興局において企業説明会を延べ6回（コロナ禍により3地域振興局は企業PR集の配布に急遽切り替え）実施し、県内高校が行う職場見学会等の取組を支援した。 令和4年度は、引き続き、企業説明会を実施するとともに、進学予定の高校3年生と保護者に向けた県内就職を呼びかける情報誌を作成・配布するなど、将来の就活に備える情報も発信していく。</p> <p>4 就業環境の改善や人材の確保・育成に向けて、柔軟な勤務形態の導入や、仕事と学び直しを両立するためのキャリアアップ支援の充実など、意識啓発セミナーやテーマ別ワークショップ、専門家派遣を通じて、多様な働き方ができる職場づくりに取り組む企業を支援するほか、取組事例報告会を開催し、県内企業への普及促進を図る。</p> <p>5 令和4年度からの「新秋田元気創造プラン」において、賃金水準の向上を選択・集中プロジェクトの一つに位置づけたところであり、デジタル技術の活用促進等による労働生産性の向上を図るとともに、賃金水準の向上に取り組む県内企業等を応援するための補助事業や、融資制度の創設等を行うなど、東京圏等との賃金水準格差の縮小に向けた施策の展開により、人材の県内定着を進める。</p>
--	--	--

<p>部活動指導員の制度化に対応した人材確保・育成に関する協働について</p> <p>各市町村が任用する部活動指導員に係る適切かつ円滑な人材の確保・育成が実施され、中学校の教育環境の充実に繋がるよう、県と市町村が協働して取り組む。</p>	<p>県と市町村が連携し、指導者の資質・能力の更なる向上や、専門指導力を有する人材の発掘に向けて取り組んでいく。</p>	<p>【担当：教育庁】</p> <p>県では、現在、各市町村で実施する研修会において、事業の趣旨、部活動の教育的意義、ハラスメントの防止等に関する講義等を行っており、今後も引き続き、市町村との連携・協働により、指導者の資質向上に取り組んでいく。</p> <p>また、指導員の地域格差、種目の偏在等を解消するため、今年度、新たに、各市町村及び県・市町村スポーツ協会、各競技団体等との連携により、年内を目処に県内の指導者リストを作成し、市町村間で共有して有効活用できるシステムを構築することとしている。</p>
--	--	--

2 県提案事項について

県の提案	協議結果等	現在の取組状況（予定）
<p>マイナンバーカードの取得促進に向けた取組の推進について</p> <p>デジタル社会の実現に向けて、その基盤となるマイナンバーカードの取得促進の取組を県と市町村が協働して推進する。</p>	<p>県と市町村において、カード取得促進に向けた取組事例等を情報共有するための全県連絡会議の開催や、県が主催するイベント等でカードの交付申請を受け付ける体制の整備などに取り組んでいく。</p>	<p>【担当：企画振興部】</p> <p>○全県連絡会議の開催</p> <p>①令和4年1月27日 第1回全県連絡会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カードの交付状況と全国の取組事例等について説明 ・鹿角市、由利本荘市及び大仙市の取組事例を紹介し、意見交換 <p>②令和4年4月27日 第2回全県連絡会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カードの交付状況と国の補助制度の活用状況等について説明 ・横手市及び三種町の取組事例を紹介し、意見交換 <p>※次回開催は、8月を予定</p> <p>○県主催イベント等におけるカードの交付申請窓口の設置</p> <p>①令和3年11月28～29日 秋田ICTフェア2021</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催地の秋田市が、会場内に交付申請の受付ブースを設置 <p>②令和4年6～12月（予定） 高齢者向けスマートフォン操作体験会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験会（全市町村で開催）の会場における交付申請窓口の設置について、市町村と調整中